

「コネクティッドカーの現状と今後の進化」

- CASE ● クルマのモバイルコネクティビティ
- コネクティッドカーのアプリケーション
- eCallからNGeCallへの進化 ● 5Gの進化とコネクティッドカー

講 師	(座長) 上智大学 理工学部 客員教授 (ご挨拶/開催趣旨説明) マルチメディア推進フォーラムモバイル部会 部会長代理 (元・エリクソンジャパンCTO)	服 部 武 氏
	トヨタ自動車株式会社 コネクティッド先行開発部 KDDI株式会社 ビジネス事業本部 モビリティビジネス本部 副本部長	藤 岡 雅 宣 氏 竹 岡 航 司 氏
(講演順)	ロード・シュワルツ・ジャパンTest & Measurement事業本部 アプリケーションエンジニア	相 澤 忠 之 氏 中 上 剛 氏

事務局 ハイテクノロジー推進研究所 〒150-00036 渋谷区南平台町15-12 南平台アイアイビル2F TEL 03(6416)0190代 FAX 03(6416)5351

「マルチメディア推進フォーラム」のご案内

明日の社会発展をリードする情報通信を目指して

情報通信技術が人類の新しい生き方を作り出し、新しい社会を作り出していることは、21世紀に入ってから一般の人々を含め広く認識されるようになった。歴史的にも、人間は近くにいる人々との対話によって協力関係を構築し、グループで力を発揮することによって世界を変化させてきた。通信技術は対話の範囲を広げその能力を強化している。

マルチメディア推進フォーラムは日本の情報通信の発展のために、新しい技術とサービス、その社会的対応と法制度などを多角的に議論するフォーラムである。1990年ころから準備を進め、1994年からは現在の名称となって多くの方々の支援を得て、独占から競争へ、電話からインターネットへ、固定から携帯への変化をとらえ様々に論じてきた。特に情報通信ネットワークのサービスが競争環境で行われるようになった今日、競争状況のなかでなお、ネットワーク事業者は接続されるネットワークについて相互に理解し協力しなければサービスは成立しない。そのためには多くの事業者が相互に理解するチャンネルをオープンに持つことが不可欠であり、本フォーラムでの議論はネットワークサービスの円滑な発展のためにも貢献していると考えている。

通信技術はその発生以来、人と人が交信する技術として発展してきたが、21世紀に入り世界のすべての人が端末を持つようになり、市場は飽和してきた。また通信端末は長く固定端末であったが、携帯端末が主流を占めるようになってきた。このような展開は20世紀には見られなかったことで、21世紀に入ってからの変化は急激である。コンピュータに代表される情報技術は70年前に実現したが、ムーアの法則による超小型化の進展によって社会の隅々に情報処理技術を広げてきている。コンピュータの能力は高まり、大量情報の取り扱いによって、過去においては取り扱いが困難であった巨大な情報に適用することにより、いままですら気が付かなかった現象を分析し、われわれの知識を増やしつつある。このような技術は、すべての社会活動の基礎として広く産業化され、社会化されるようになってきている。

多くの情報は社会の様々な場面で発生する。それぞれの場面には多様な産業がある。家庭では家庭用の機器産業がある。鉄道では交通サービス産業がある。エネルギーを供給する電力産業、医療事業、自動車産業など多様な産業も情報処理と通信の技術を活用しながらサービスを展開しつつある。このような技術における通信はM2M通信（機械と機械の通信）と呼ばれるが、多様な背景を持つ技術のM2M通信について、その初期には産業分野ごとに通信ネットワークを構築する議論も稀ではない。しかし、各分野が独自に情報通信設備を構築することは現実的でない。M2Mネットワークの本質を理解しつつ、共通の通信インフラストラクチャを構成することは情報通信産業に課せられた課題である。同時に情報通信産業は個々のアプリケーションを形成する活用技術について、その特質を理解しなければならない。そのためには、技術を技術としてだけ論ずるのでは不十分である。技術を国際的視野から、社会的な側面を含めて分析し、関連する産業、法制度との整合性を含めて理解することが重要である。時には産業構造の変革、法制度の見直しを考えることも話題になろう。

マルチメディア推進フォーラムは、情報通信技術の多様な発展について論じつつ、新しい市場の特性を理解した幅広い問題を考慮しながら、情報通信事業とサービスの将来を論じたいと考えている。

ICTはますます多様化し、産業としても社会としても重要性を増している。社会のICT化はその社会が国際的に競争力を維持するための基本的要素となっている。マルチメディア推進フォーラムはそのための技術、社会、普及の条件等を幅広く討議し、競争力のある社会を形成する方策について議論を進めている。今日に至る情報通信技術の変革期の中で、その適切な発展のために当フォーラムの果たして来た役割は大きい。このような役割は今後共ますます大きくなると考えている。皆様のそれぞれの活動の発展のためにもマルチメディア推進フォーラムに対する御支援をお願いする次第である。

本フォーラムに関連する部門 あるいはご関心をおもちの部門に
ご回覧下さいますようお願い申し上げます。

■ 「マルチメディア推進フォーラム — P A R T 979 — 」開催内容
(主催)マルチメディア推進フォーラム

テーマ 「コネクティッドカーの現状と今後の進化」

日 時 2025年 6月 20日 (金) 13時00分～16時30分

時間	講 演 内 容	講 師
(本フォーラムの趣旨・論点)		
● CASE ● クルマのモバイルコネクティビティ ● コネクティッドカーのアプリケーション ● eCallからNGeCallへの進化 ● 5Gの進化とコネクティッドカー		
CASE (Connected、Autonomous、Shared、Electric) という車の進化の中で、特にコネクティビティは全ての基盤となる技術であり、これからの車では不可欠になると考えられる。コネクティビティの中には、4Gや5Gといったモバイル通信を利用した形態やDSRC (Dedicated Short Range Communication) 、Wi-FiやBluetoothを利用した形態がある。 モバイル通信の実現の仕方には、車載の通信モジュールを用いる形態が一般的であり、欧州eCallなどでは必須となっている。一方で、スマートフォンのテザリングによりユーザーが加入しているブロードバンドサービスを流用する形態もある。何れの形態においても、広域で移動する車という観点からみるとモバイル通信の果たす役割は非常に大きい。このコネクティビティの基盤の上で様々なサービスがカーメーカー、車用アプリ事業者、保険会社など第三者により提供されている。 そこで、本フォーラムではコネクティッドカーの現状と今後の進化について、国土交通省、通信事業者、カーメーカー、試験・計測器メーカーなど様々な観点から論ずる。		
(座長)		
上智大学 理工学部 客員教授 服 部 武		

13:00 ～ 13:10	(ご挨拶/開催趣旨説明)	質疑 応答	藤岡雅宣氏 マルチメディア推進 フォーラム モバイル部会 部会長代理 (元・エリクソン ジャパンCTO)
13:10 ～ 14:10	「これからのコネクティッドカーの進化」 ●カーOEMとしてのコネクティッドカーの重要性 ●コネクティッドカーの実現形態 ●複数コネクション利用の可能性 ●コネクティビティとOEMの役割 ●5Gの進化とコネクティッドカー	質疑 応答	竹岡航司氏 トヨタ自動車株式 会社 コネクティッド先 行開発部
(休憩) (14:10～14:20)			
14:20 ～ 15:20	「モバイル通信事業者によるコネクティッドカーの進化」 ●コネクティッドカー グローバルコネクティッド実績 コネクティッドカーの接続支援 ●WAKONX AIが溶け込むビジネスプラットフォーム モビリティ運用監視 ●コネクティッドモビリティの未来 モバイルからあらゆるモビリティへ エンボディドAI・フィジカルAI	質疑 応答	相澤忠之氏 KDDI株式会社 ビジネス事業本部 モビリティビジネ ス本部 副本部長
(休憩) (15:20～15:30)			
15:30 ～ 16:30	「eCall からNGeCall へ - 車両における緊急通報システム -」 ●eCallとは ●eCallの現状 ●NGeCallへの進化 ●規制、規格動向 ●R&S NGeCallソリューション	質疑 応答	中上剛氏 ローデ・シュワル ツ・ジャパン Test & Measurement 事業本部 アプリケーション エンジニア

- 当日、講師の都合により、代理講師による講演あるいは講演順序を変更する場合があります。
- 受講者交替可。

本フォーラムに関連する部門 あるいはご関心をおもちの部門に
ご回覧下さいますようお願い申し上げます。

委員長			「マルチメディア推進フォーラム」委員会			(順不同 敬称略)		
齊藤 忠夫	東京大学	名誉教授	稲葉 陽子	株NTTデータグループ		技術革新統括本部		
(運営諮問委員会幹事)						イノベーション技術部長		
代表幹事						取締役執行役員専務		
齊藤 忠夫	東京大学	名誉教授	吉村 和幸	KDDI株		代表取締役 副社長執行役員 兼 CTO		
副代表幹事						工学系研究科 特任教授		
服部 武	上智大学	理工学部 客員教授	宮川 潤一	ソフトバンク株		代表取締役社長		
森川 博之	東京大学	大学院工学系研究科電気系工学専攻 教授	石原 直	東京大学大学院		特別顧問		
成宮 憲一	一般社団法人		浅見 徹	株国際電気通信基礎技術研究所		取締役 会長		
	科学技術と経済の会	専務理事	遠藤 信博	日本電気株		執行役 Corporate EVP 兼		
幹 事						テレコムサービスビジネスユニット長		
尾上 誠三	国際電気通信連合 (ITU)	電気通信標準化局長	高木 康志	富士通 (株) SVP	システムプラットフォームBG エグゼディレクター			
川野 真稔	総務省	国際戦略局 技術政策課長	石田 貴一	株日立製作所		事業部長		
間宮 淑夫	内閣官房	内閣審議官	伊藤 明男	株日立国際電気		副社長執行役員		
渡邊 昇治	経済産業省	商務情報政策局 総務課長	加茂下哲夫	株アリュンションズ&ネットワーク株		代表執行役員社長		
西尾 崇	国立研究開発法人 土木研究所		(主な設立発起人)					
		戦略的イノベーション研究推進事務局 次長	齊藤 忠夫	東京大学		名誉教授		
立川 敬二	株ハイテック推進研究所	取締役・特別顧問	吉川 弘之	東京大学		元 総長		
		(宇宙航空研究開発機構 元 理事長)	立川 敬二	株ハイテック推進研究所		取締役・特別顧問		
伊藤 寿治	日本放送協会	技術局長				(宇宙航空研究開発機構 元 理事長)		
川添 雄彦	日本電信電話株	代表取締役副社長				元 政務調査会 調査役		
星野 理彰	東日本電信電話株	代表取締役副社長	杉本 榮一	自由民主党				
			(最高顧問)					
桂 一詞	西日本電信電話株	代表取締役副社長	甘利 明	元・経済産業大臣				
池田 敬	日本電信電話株	常務執行役員 技術企画部門長	金子 一義	元・国土交通大臣				
佐藤 隆明	株NTTドコモ	代表取締役副社長 CTO、CAIO、CPO	林 芳正	元・防衛大臣				
伊東 匡	NTTアドバンステクノロジ株	代表取締役社長						